

Tsukiyomi Life

月読生活

地球上の万物に大きな影響を与えている月の動き。月の満ち欠けは生命のリズムを生み出す源です。古来より日本の暦は、現在の太陽の動きを読む太陽暦ではなく、月の動きを読む太陰暦（旧暦）でした。人間は月の満ち欠けに合わせて生育する動植物を食べ、そのリズムを体に取り入れて生きてきました。



新月のころは、地下部に水分が集中し、大根などの根菜類の収穫に適しているといわれています。

新月（朔）：大潮



新月どり®



<月山>

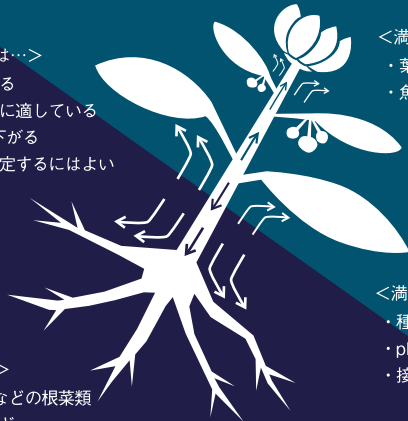
月山神社の御祭神は月の神「月読命（ツクヨミノミコト）」

<新月の時は…>

- ・根がのびる
- ・植え付けに適している
- ・ph値が下がる
- ・果樹の剪定するにはよい

<新月どり>

- ・大根、芋などの根菜類
- ・魚介類など



<満月どり>

- ・葉・花・実・果実
- ・魚介類など

<満月の時は…>

- ・種まきに適している
- ・ph値が上がる
- ・接ぎ木するにはよい



満月どり®

満月（望）：大潮

満月の夜は空が明るく地上部に水分が集中し、葉・花・実・など地上の収穫に適していると言われています。



月の満ち欠けに合わせて収穫することで、食材のよさを最大限引き出した状態で保存できます。より一段と美味しく、生命力あふれる食材、それが月読生活の「満月どり」「新月どり」なのです。月のリズムを「食」から取り入れ、体も心もよるこぶ生活スタイルを山形庄内から発信していきます。